

教科	理科	科目	科学と人間生活	開講学期	通年	単位数	2	試験	前期・後期
タイプ	I	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		14

教科書(発行者)	改訂 科学と人間生活(東京書籍)
補助教材(発行者)	科学と人間生活 学習書(NHK出版)

科目の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行い科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象を人間生活と関連つけて問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	科学技術の発展 微生物とその利用	第1・2回	前期
	第2回	ヒトの生命現象	第3・4・5回	
	第3回	衣料と食品	第6・7回	
後期	第4回	光の性質とその応用	第8・9回	後期
	第5回	宇宙や地球の科学	第10・11・12回	
	第6回	自然景観と自然災害	第13・14回	